# 令和7年度 南街公民館・市民企画運営講座 街づくり懇談会 「安全安心な住みよい街づくり」

● 第一回「南街地域をはじめとした市内の 昔とこれからを学ぶ」

市民企画運営委員 2025年10月17日

令和7年度の街づくり懇談会の講座が、「安全安心な住みよい街づくり」をテーマとして、連続4回にわたって開催されます。本日10月17日の第一回は、「南街地域をはじめとした市内の昔とこれからを学ぶ」を内容として、南街公民館202集会室で開催されました。

当日は、22名(一般参加者17名、運営委員4名、南街公民館職員1名)の参加者となりました。講座内容は以下の通りです。









講座主旨説明 南街公民館職員



## ★講演内容(抜粋)

## 【岡田正嗣 氏:「東大和市南街・桜が丘地域の歴史について」】



# 東大和市南街・桜が丘地 域の歴史について

東大和市の成り立ち及び南街・桜が丘地域の成り立ちの歴史を纏めてみました。(現在の地域が形成されたのは、第二次世界大戦が大きく関係しております)今後この地域がどの様な形で発展させ、安心安全な街づくりが出来るか皆様で考えてみましょう。

两田正闸 2025年10月17日

## 南街・桜が丘地域とは

- 桜が丘地域;日立航空機(陸軍エンジンの生産工場)
  - (東大和市駅から玉川上水駅迄:校正会霊園迄工場)
- ・南街地域;工場の住宅地(昭和16年頃整備;道路は

  - 基盤の目、上下水道完備) 住民は全国から流入し、生産工場の為、人材的には種々の能力
  - を持った集合地域となった
  - 自治会は100%加入(水道事業が市に移管する迄は)
- 南街vs本村地域の差別化

- ・地番は南北の帯状(南街は正式地番には無し、市制で南街となった)
  ・ 西より;芋窪、蔵敷、奈良橋、高木、清水、狭山・自治会名;栄1~3、協和1~3、末広1,2、大和通り、銀和(旧南街地域)・学校 ;大和小学校、中学校、大和小学校分教場(南街)
  ・ 桜が丘のマンション;29年前にグランバサージュが建設今に至る

- 地域として地縁、血縁の全くない地域/地域を纏める何らかの方法が必要

# 南街・桜が丘地域の特徴

#### 地盤的には問題ない地域である

- 立川断層が近くにあるが直下ではない
- 天災に対して問題が少ない 津波、洪水、崖崩れ、液状化 南街地域は家屋密集地域である。
- - (市の人口の約25%が狭い地域に居住している) 南街地域は地震に対しての高危険度地域である 南街地域は高齢者が極めて多い(老老防災)

- 地震に関する地域危険度測定で高度危険地帯と判定 された
- この為当該地域は災害時に火災発生対応が必須である

# 南街の名称の由来

南街(なんがい)の名前の由来は、\*\*「南の工場街」\*\*という通称にありま

#### 、歷史的背景

- 1938年(昭和13年)、航空機エンジンを製造する工場が東大和市の南側に移転。
- それに伴い、社宅・学校・商店街などが整備され、地域が急速に発展。
- ・ 当時と非郎は農村地帯だったため、工場が集まる南側の街は「南の工場街」と呼ばれるように。

#### ⇒ 地名の正式化

- を行政地名として採用されました。 1980年(昭和55年)に正式
- つまり ・住民の間で使われていた通称がそのまま町名になった、地域の暮 らしと密接に結びついた名前です。

# 桜が丘の名称の由来

#### 戦後の土地利用と開発

- ・ この地域は戦前、日立航空機立川工場があり、戦後はGHQに接収されて「大和空軍施設」として利用されました。
- 1973年に返還された後、住宅地として再開発され、町名地番整理が 進められました。
- ・その際、\*\*新しい町名として「桜が丘」\*\*が採用されました。

#### 地名の意味とイメージ

- 「桜」は日本人にとって春の象徴であり、親しみやすい花。
- 「丘」はこの地域が緩やかな高台に位置する地形を表しています。
- るイタージを利み合わせなた。様が近しは、美しい自然と**穏やかな住宅地**

## 青梅橋の名称の由来(青梅橋駅→東大和市駅)

- 「青梅橋」という名前は、青梅街道が野火止用水を横断する地点に架けられた標に由来し 連の要所として無要な役割を果たじました。 で野火止用水が間削された際に設けられた ■ 名称の背景
- 青梅街道は、青梅成木から江戸へ石灰を運ぶための主要な物流路でした。
- この街道が野火止用水と交差する地点に橋が必要となり、架けられたのが「青梅櫃」。
   横の名前は、街道の名称「青梅街道」にちなんで付けられたと考えられています。 ■ 地名としての定着
- ・ 橋は昭和38年 (1963年) に野火止用水の暗張化に伴い消滅しましたが、「青梅橋交差 点」や「青梅橋公園」などの地名にその名残が残っています。
- かつての「青梅橋駅」は、1979年に「東大和市駅」へ改称されましたが、駅名にも橋 の名称が使われていたことから、地域に深く根付いた名称だったことがわかります。
- ・江戸時代の青梅街道はここから左折して現在の武蔵村山市へ向かいますが、ここを左折すると青梅の方向が初めて見ることが出来るので、青梅橋としたとの話もあります

## 富士見通り商栄会及び大和通り共栄会の歴史

- 富士見通り商栄会の歴史

  - a 上 光通り間 宋 云 い 底 正 ・ 昭和 3 0 年 (1 9 5 5 年) : 富士見通り商栄会発足 ・ 昭和 3 7年 (1 9 6 2 年) : 大和町内で初めての舗装道路建設 ・ 平成元年 (1 9 8 9 年) : 道路改修(歩道設置)/街路灯設置 ・ 平成 2 6 年 (2 0 1 4 年) ; 道路全面改修(歩道インターロック)
    - /街路灯のLED化

#### 大和通り共栄会の歴史

- (利型リ共来会の歴史 ・昭和25年(1950年);大和通り共栄会の発足 ・昭和38年(1963年);道路の舗装が完成 ・平成元年 (1989年);道路改修(歩道設置)/街路灯設置/<u>電柱を民地に移設</u> ・平成20年(2008年);青梅街道と26号線の交差点に桜(陽光)の植樹決定 ・歩道拡幅事業/雨水対策を含む
- - \*・第一期;平成27年度(2015年度)区間;東大和駅前~南街交番 (街路灯も新規にLED化を行った)
  - ··第二期;平成28年度(2016年度)区間;南街交番~東大和病院
  - ・・第三期;平成30年度(2018年度)区間;東大和病院~中央通り
- 東大和市商工会;1967年昭和42年設立;商工会館建設;1978(昭和53年)

## 青梅橋駅→東大和市駅の歴史

- ・1.昭和25年 (1950年) 5月15日 西京鉄道の上水線 (小川駅で表別上後駅間) 開 議論がルーツです
- 2. 「青梅橋」の名前は、野火止用水と青梅街道が交差する地点に架けられた橋から取られたものです。
- · 3. 電化·路線延伸

昭和29年 (1954年) 1月12日にこの区間は電化されました。

昭和37年(1962年)9月1日に小川~萩山間が開递し、立川市へ路線が延伸、上水線から拝局線となりました。

- 4. 駅名の変更と高架化

- 昭和54年(1979年)3月25日、「青梅橋駅」は「東大和市駅」に改称されました。 れは地区内に複数ある「青梅」という地名との混同を避け、市の玄関駅と してよされている称にするための市の要望によるものです。 5.昭和55年(1980年)7月17日には、贈切渋滞解消を目的に高架化され、現在の 変化なりました。

6, 令和6年(2024年); 無人化

• 7、南口の歩道には「**庚申塔の道しるべ」**や、青梅橋の橋柱の一部が今でも見られ、江戸時代からの交通史を伝えています。

#### 南街地区の自治会の歴史

現在の自治会名の命名時期

1940年9月(昭和15年);部落会・隣組・常会が設置される。 (この時期に、今の自治会名が付与されたのではないかと推測します。 但し戦前はどの程度組織化し/活動していたか不明です)

・昭和21年(1946年)に栄一丁目自治会が第一回お祭りをした記録があ りますので、この時点で「親和、大和通り、協和一~協和三、栄一

末広一、二」の自治会の組織化が開始され、昭和25年(1950年)頃に ほぼ確定して、現在に至ているのではないかと推測します。 現在南街地区の自治会は、以下の通りです。

現和、大和通り、協和二、協和三、第一光ヶ丘、末広一、末広二、栄一、 製二、栄三、新海道(協和一は解散)

#### これからの南街を考えると(1)

- 東大和市がこのまま発展が停滞すると、郵会の過離地域になってしまうのではないか!現在実施 している大型インフラ事業としては、下記のみです。
  - ・空堀川上流雨水幹線事業(P14-P18参照);いずれ富士見通りの地下にも延伸されます。
  - 都市計画道路3.4.17号線の拡張/無電柱化→この延伸が重要です。





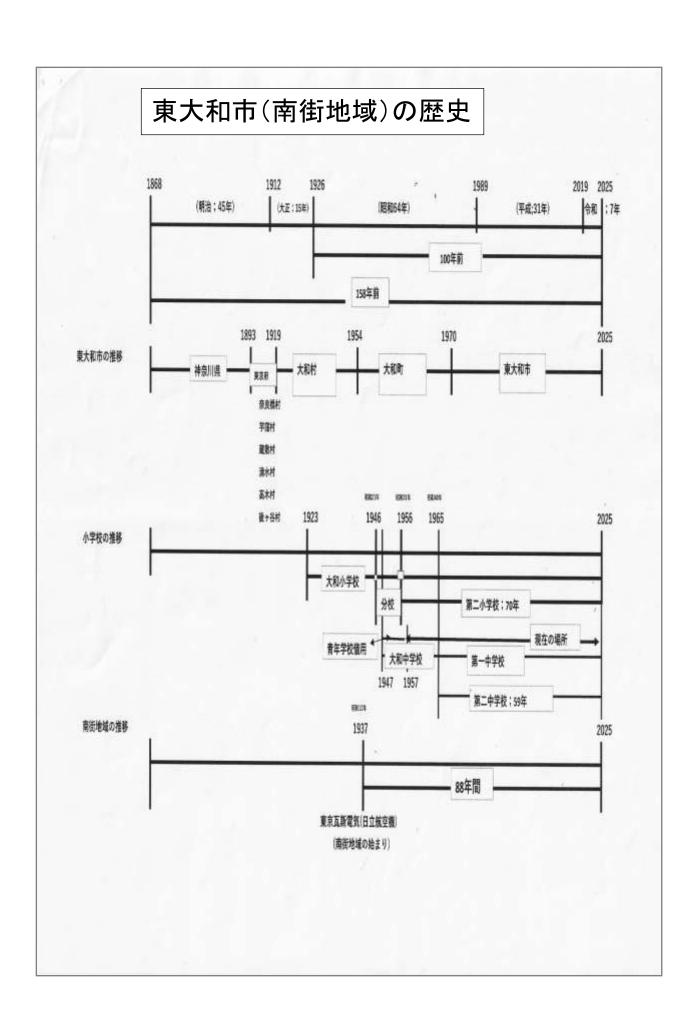
この部分の延伸が必要!!

#### これからの南街を考えると(2)

・現在;「東大和市駅前周辺街づくり」の検討が開始されておりますが、<u>東大和駅前の開発の方向づけ</u>は大変重要な案件です。



- 次世代人材の新しい「イベントの芽吹き」を継続させる事が必要
  - 南街まつり
  - 東大和市駅高架下の夜市
  - ・ヒガシヤマトみらい基地の各種活動



## 【高橋 章 氏:「南街地域をはじめとした市内の昔とこれからを学ぶ」】





## 南街地域をはじめとした 市内の昔とこれからを学ぶ

東大和市勝工会 会長 高橋車

#### 商工会とは何か

- 商工会は「商工会法」(昭和35年法律第89号)に基づき。経済産業大臣の認可を受けて設立された特別 題可法人です。全国には約1,635の商工会が存在しています。
- 東大和商工会の会員数は、917名。(商業:569名 工業:94名 建設:254名)
- 植職率 42,296(商工業者数2,171名) + 令和7年7月末现在
- 高工会とは、地域の中小企業や個人事業主が共に成長し、地域経済を活性化させるための根様です。 その投資は多銭にわたり(国や東京都の支援施策等)、経営相談や資金調達支援、販路拡大のサポー トなど、事業者が抱える課題を解決するためのアドバイスや支援を提供しています。また、各種セミナ や研修を通じて、経営者のスキルアップを目指しています。
- > さらに、商工会は地域の発展にも貢献しています。地域ブランドの開発や地元特殊品のPR活動、地元商 店側の活性化イベントの企画運営を行うことで、地域全体の経済や文化を繋かにする取り組みを推進し ています。加えて、や地域社会資献活動を通じ、地域住民とのつながりを深めています。

#### 商工会の活動内容

- 事業者の「困った!」をサポート

  経営相談: 売上向上、販路開拓、新商品開発、などの相談に対応
  資金調達: 融資制度の斡旋、相談(無担保・無保証人マル経融資)

  専門家派遣: 中小企業診断士、社会保険労務士、税理士、弁護士など専門家の紹介
  記帳・税務: 経理や確定申告の支援
  労務關係: 労働保験の管理・労災、雇用保険の手続き

  「関係: SNSやITツールの導入、キャッシュレス決済
  ・中小企業大学校(東京校)との連携: 全国から年間約23,000人の研修生が受講
- 町を元気にする活動
  - イベント開催:「東やまと産業まつり」「市内一斉5店ラリー」などを主催 \* D#!!/ 特産品開発:「茶うどん」の企画、製造、販売 情報発信: 会報やウェブサイトで地域の魅力を発信

## 市内の商工業の方向性(昔とこれから)

·森永乳業株式会社 東京多療工場 昔と今







- 富士県通り商梁会 昔と今





■ 【これから】

~ 「体験」の重視: ワークショップなど、そこでしかできない体験を提供 ~ 「体験」の重視: ワークショップなど、そこでしかできない体験を提供 ~ デジタル技術の活用: SNSでの発信、キャッシュレス決済の導入 ▶ 地域の魅力再発見: 東大和市の歴史や文化を活かした商品開発

## 市内のお店を盛り上げるための取組

東大和市内一斉お楽しみ5店ラリー 市内のお店を5店舗回るスタンブラリー 賞品は「お買物券」で総額80万円。 毎年12月の一か月間で実施。昨年度の参加店は140店舗。

> 東やまと産業まつり

市内の商工製品を広く一般に公開し、市内の商業、工業、建設業に対する認識を高めるとともに、市民と商工業者との相互理解とふれあいの場を設けることを目的に開催。

➢ IT導入支援

「instagram活用セミナー」「業務改善で働き方改革ITセミナー」、e-tax確定申告支援 クラウド会計ソフトの導入支援、建設業者の紹介サイト「住まいの便利ガイド」。

> 創業支援セミナー (創業器)

市・中小企業大学校とも連携して、「東大和市でお店を開きたい!」という夢を応援。 家賃補助制度(上版20万円)。

# 地域との「つながり」の作り方

- > 地域の観光名所の活用、発信:多摩湖、郷土博物館、旧日立航空機立川工場変電所
- » 地域スポーツのPR、発展:プロアイスホッケーチーム「東京ワイルズ」
- > 地域特産品の開発:
- » 地域イベントへの協力: 地域のお祭りや学校行事などに積極的に関わる
- » 地域の皆さんとの対話: 講演会やアンケートを通じてご意見を伺う
- ▶ 「応援したい!」と思われるお店づくり:商品を売るだけでなく、防犯や清掃活動への参加など を通じて信頼関係を築く









#### ■ 皆様へのお願い

ぜひ、市内のお店に足を運んでみてください。 お気に入りのお店を見つけたら、 SNSで発信するなど、ぜひ「応援団」になってください。 皆さんの応援が、お店の元気、まちの未来につながります。

■ 私たちのまちは、私たちで創る

商工会は、これからも東大和市の商工業の発展と、市民の皆さんの 豊かな暮らしのために全力を尽くし、都市の価値を高めてまいります。

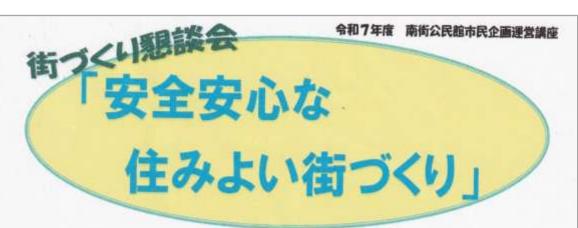
## 意見交換

·別紙資料(10枚)·

## ★質問タイム



質問タイム 熱心な応答がなされました。



南街公民館では、市民が企画運営する講座を実施しています。 今年も「安全安心な住みよい街づくり」をテーマに皆さんの身近な事を知る機会を設けま した。連続でも各回での参加も可能です。対象は 18 歳以上の方。多くの方々のご参加を お待ちしております。

	期日	内容	講師等
1	10月17日	南街地域をはじめとした市内 の昔とこれからを学ぶ	南街 5 丁目栄三自治会会長 東大和市商工会会長
2	10月24日	市内の農家さんの活動を知る	東大和市農業委員 女性農業者
3	11月 7日	学校給食センター見学会 (試食会(有料)含む)	学校給食センター職員
4	11月21日	クリーン作戦 (参加者による地域の公園や道路 等の清掃)	南街公民館職員 市民企画運営委員

- 時間 午前10時~正午(毎回金曜日)※内容により終了時間 が変更することがあります。
- 場所 南街公民館 202集会室※3回目は学校給食センター、4回目は南街公民館周辺
- 定員 各回30人
- 持ち物 筆記用具

※クリーン作戦の際は汚れてもよい服装でお越しください(トング、軍手、 ごみ袋は公民館で用意します)。

● 申込み 10/16(木)まで 下記二次元コード、または南街公民館窓口、電話

※③学校給食センター見学会については<u>公民館窓口</u>での 申込みとなります。申込時に試食代390円をお支払いください。 (キャンセル時には返金はできない場合があります。)



お申し込みはこちらの 二次元コードから



以上